

# 105-294

## 問題文

今後の治療方針について薬剤師が行う医師への提案として最も適切なのはどれか。1つ選べ。

1. しばらく経過観察
2. アリピプラゾールの増量
3. クエチアピンへの処方変更
4. クレアチンキナーゼ値の測定
5. ピペリデンの処方追加

---

## 解答

問294 : 3問295 : 5

## 解説

### 問294

統合失調症治療薬による代表的な有害作用は、パーキンソン病様の症状である「錐体外路症状」です。

錐体外路症状は、ドパミン神経の抑制により引き起こされます。関係する神経経路は「黒質一線条体系」です。

以上より、正解は 3 です。

類題

### 問295

統合失調症のコントロールはアリピプラゾールによってできているが、有害作用の抑制を図りたいという状況です。

このまま経過観察では、アリピプラゾールの服用を自発的にやめてしまうおそれがあります。また、アリピプラゾールを増量すると、有害作用が増強するおそれがあります。よって、選択肢 1,2 は適切ではありません。

選択肢 3 ですが

アリピプラゾールによる症状のコントロールはよいと考えられるため、処方変更は不適切です。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

クレアチンキナーゼ値の測定をする理由が見当たりません。よって、選択肢 4 は誤りです。

1～4 誤りなので、正解は 5 です。

ちなみに、ピペリデン（®アネキトン）は、パーキンソニズムに用いられる抗コリン薬です。（）